

くったら 倶多楽の噴火警戒レベル

—火山災害から身を守るために—

噴火警報等で発表する噴火警戒レベル

- 噴火警戒レベルとは、噴火時などに危険な範囲や必要な防災対応を、レベル1から5の5段階に区分したものです。
- 各レベルには、火山の周辺住民、観光客、登山者等のとるべき防災行動が一目で分かるキーワードを設定しています（レベル5は「避難」、レベル4は「避難準備」、レベル3は「入山規制」、レベル2は「火口周辺規制」、レベル1は「活火山であることに留意」）。
- 倶多楽の噴火警戒レベルは、噴火警報等でお伝えします。

倶多楽の噴火警戒レベルは、地元自治体等で構成する倶多楽火山防災連絡会と協議して作成しました。各レベルにおける具体的な規制範囲については、地域防災計画等で定められていますので、詳細については地元自治体にお問い合わせください。



■倶多楽 噴火警戒レベルと必要な防災対応

噴火警戒レベルに応じた防災対応

レベル5（避難）

危険な居住地域からの避難等。
火口想定域から約1km以内の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

レベル4（避難準備）

警戒が必要な居住地域での避難準備。
火口想定域周辺の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

レベル2（火口周辺規制）

火口想定域内の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

レベル1（活火山であることに留意）

火口想定域内で局所的な熱水活動がみられた場合には、状況に応じて付近の遊歩道等を規制することがあります。

レベル3（入山規制）

※レベル下げの場合にのみ使用
火口想定域周辺の立ち入り禁止。
道路 は通行できません。

凡例

- 火口想定域
- 噴火が発生した場合に、噴石の飛散や火砕サージが及ぶ可能性のある範囲
- 居住地域
- 特定地域
- レベルに応じた規制箇所



この図は、国土地理院「地理院地図」を使用して作成しています。



本冊子は、FSC認証紙および植物油インクを使用しています。



問い合わせ先

札幌管区气象台 火山監視・情報センター
TEL : 011-611-2421 <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>
室蘭地方气象台
TEL : 0143-22-4249 <http://www.jma-net.go.jp/muroran/>
倶多楽火山防災連絡会事務局：登別市
TEL : 0143-85-2111 <http://www.city.noboribetsu.lg.jp/>



倶多楽の噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警戒報	噴火警戒報(居住地域)又は噴火警戒報	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。 (状況に応じて対象地域や方法等を判断)	●人頭大を超えるような大きな噴石が1km程度飛散し、居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫。噴火に伴う泥流が発生、あるいは予想される。 過去事例 なし ●こぶし大程度の噴石が500m程度飛散し、居住地域に被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫。噴火に伴う泥流が発生、あるいは予想される。 過去事例 約200年前の噴火
			4 (避難準備)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、要配慮者の避難等が必要。 特定地域からの避難等が必要。	●地震活動の活発化、火山性微動の発生、地熱域の拡大、噴気活動活発化、浅部の地殻変動等により、噴火が発生する可能性が高まっている。 過去事例 なし
警戒報	噴火警戒報(火口周辺)又は火口周辺警戒報	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常の生活。 特定地域を含む、火口から居住地域近くまでの範囲への立入規制等。 (状況に応じて要配慮者及び特定地域の避難準備等)	【レベル3の発表について】 レベル3は、火山活動が高まっていく段階では使用せず、レベル5から下げる段階で状況に応じて発表する。 ●火山活動が低下し、こぶし大程度の噴石の飛散が居住地域まで達しない噴火が発生、あるいは予想される。 過去事例 なし
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生すると予想される。	住民は通常の生活。 火口想定域内への立入規制等。 (状況に応じて要配慮者及び特定地域の避難準備等)	●微小な地震増加、火山性微動等が発生し、噴火が発生する可能性がわずかに認められる。 過去事例 なし
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口想定域内で熱水活動が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口想定域内の一部立入規制等。	●火口想定域内の局所的な熱水活動。 過去事例 明治時代以降の活動 ・1952年昭和地獄の活動 ・2007～2011年大正地獄の活動 等
					道路・遊歩道外への立入規制等。	●火山活動は静穏。

※ レベル5の噴火では、火砕サージの発生の可能性も考えられる。

※ 火口想定域とは、倶多楽火山防災マップに記載されている、地獄谷・大湯沼や日和山等を含む約600m×約1800mの楕円領域。

※ 火口想定域周辺とは、火口想定域外側の居住地域を除く概ね200mの範囲。

※ 特定地域とは、居住地域のうち火口想定域に隣接した地域。

※ 火口想定域内又は火口想定域外に一部飛散する局所的な温泉・泥水・小石・土砂等の噴出については「熱水活動」として扱う。